

1 . 検討経緯

外環は、計画の初期段階から、沿線地域の住民や利用者、国民一般に情報を公開した上で、広く意見を聴く、P I（パブリック・インボルブメント）方式で検討が進められている。

本委員会は、検討の過程で沿線住民や関係自治体等に提示していく資料に関し、技術的な見地からその妥当性について審議することを目的に設置された。

本委員会では、外環の必要性の検討にあたって必要となる外環の効果と影響等に関する資料について、

沿線住民の関心や懸念に対する要求に答えているか（必要な情報の種類や内容）

それがわかりやすく表現されているか（情報のわかりやすさ）

情報がどのように作成されているか（データ等の前提条件や作成手法、データや方法論の制約がある中で最善の方法が追求されているかどうか）

の観点から検討を行い、資料の妥当性について審議した。

本委員会は、平成17年1月から8月までの間、5回にわたり開催され、各回では以下の内容に関する審議を行った。

- | | | |
|-----|------------|----------------------------------|
| 第1回 | 平成17年1月21日 | 検討経緯<報告>、将来交通量(予測手法・前提条件)、地域の課題 |
| 第2回 | 平成17年2月9日 | 将来交通量(推計結果)、環境の現地観測 |
| 第3回 | 平成17年4月12日 | 経済効果、外環沿線地域における環境への影響、必要性の説明内容 |
| 第4回 | 平成17年6月2日 | 環境改善効果、費用便益分析の感度分析、誘発効果、住民意見<報告> |
| 第5回 | 平成17年8月3日 | 追加資料、とりまとめ |